



十二支の由来

ある時、神様が動物たちを集めて、「お正月の朝、早く来たものから12番目の者をその年の大将とする」と、言いました。猫は、うっかりしていたので、ねずみに尋ねると、ねずみはわざと、次の日を伝えました。ねずみが牛のところに行くと、牛は、「歩くのがゆっくりだから早く出かけよう」というので、ねずみは牛の背中に乗りました。

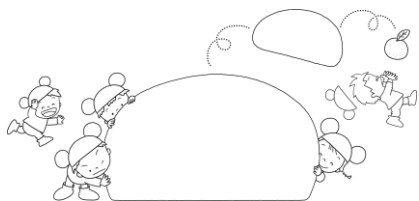
朝になり、神様の御殿の門まで来ると、ねずみは牛の背中から飛び降りて「私が一番！」とちゃっかり言いました。そして牛が2番。次々とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、いのししと順番に入り、その年の干支にしてもらいました。

猫はというと、次の日に行っても誰もいないので、門番に尋ねると、「顔を洗って出直してこい！」と言われました。猫が顔を洗うしぐさをするようになり、ねずみを追いかけるのは、この時からだそうです。

鏡開き

1月11日は、鏡開きです。

お正月にお供えたおもちを割り、おしるこなどにさせていただきます。おもちを割るときに、一年の健康をお祈りすると元気に過ごせると言われています。園児の健やかな成長を願って、園では、11日におやつにぜんざいをいただきます。



平成30年 1月の園だより



広島教育が変わる

あけましておめでとうございます

昨年も広島東洋カープは、春から快進撃を続け、2連覇を成し遂げ、広島市の街は大いに盛り上がり、活気づけられました。日本シリーズには、とどきませんでした。でもシーズンを通してどの選手も自分の役割を自覚し、与えられた場所で最善を尽くす姿にファンの一人として多くの学びがありました。今年は、球団初の3連覇そして、日本一を願いながら、私自身は、今年も多くの子どもたち、保護者の皆様との出会いに感謝し、日々を大切に過ごしていきたいと思っています。

さて、昨年12月に広島県教育委員会が協賛する子育てフォーラムに参加しました。『あそびは学び 大人と子どもが共に育つ』というテーマで、広島県教育委員長下崎邦明氏と慶応義塾大学教授今井つみ氏の対談形式で、学びを変革する広島県の教育について語られました。

その内容は、『これからの社会は、コンピューターやロボットの進出、そして、グローバルな社会となり、さまざまな国の人々と共に暮らすようになる。今までは、知識を蓄えることが何より大切であったが、今からは知識のみでは対応できない。人はいろいろな力を持っている。考える力、協力する力、意欲的な力、人と関わる力、挑戦する力など、学んだ知識を使えるようにならなくてはならない。学校の授業も先生が中心となって組み立てていたが、生徒が自分で課題を見つけ、解決していく内容に変わっていきつつある。子どもが一番考えているときは、あそびと通じているときで、そのあそびには工夫がたくさんある。さらに、頭だけではなく、身体を使ったあそびが大切。だから、乳幼児の教育に力を入れなくてはならない。友だちと遊ぶ、親子で遊ぶ、人と一緒に遊ぶことで、さま

ざまな力が伸びていく。』というお話でした。

この考え方は、当園の「あそびの中に学びがある」といった考え方と同じではないかと思えます。例えば、12月の発表会で、「ポンタの自動販売機」という絵本をもとに劇あそびをした年中さん。絵本を読んだ直後から空き箱を使って自動販売機を作ったり、登場人物のお面を作ったりしてごっこあそびが展開しました。自動販売機は、何度もリニューアルされ、そのたびに一緒に作る仲間が増え、話し合ったり、協力し合ったりしていました。お遊戯で使った手作りギターも小さな部品を糊でつけるとすぐにとれるので、何でつけたらいいのか、セロテープやボンドで試したり、友だちの作っている作品に手を貸したりしていました。そのお遊戯を見て2歳児さんが手作りギターを欲しがっていることを聞くと、発表会後に作ってあげて、一緒にステージで踊っていました。このあそびの中には、考えること、工夫すること、協力すること、意欲的に取り組む姿、誰かのために一生懸命取り組むことの楽しさ、大切さなど多くの学びがあったのです。繰り返してあそびこむこと、そしてその思いに寄り添ってくれる大人がいて、安心して過ごすことで、広島県がめざしている「学びの変革」に順応できる心と体を育てることができるのではと思います。子どもたちには、今からの世の中の変化に柔軟に対応できる力を身につけて欲しいと願っています。

まだインフルエンザなどの流行は見られませんが、小さいお子さんは、重症化してしまうこともあるので、下痢嘔吐などの感染症も含め、手洗い・うがいを励行して、予防に努めて寒い冬を乗りきりましょう。

園長 上原玲子

七草粥

お正月を過ぎて、7日の朝食に七種類の野菜を入れた粥を食べます。早春の野山に咲く若草を食べることによって、自然界から新たな生命力を得ることができ、無病息災で長生きできるといわれています。

また、七草には、消化を良くする成分やビタミンCが含まれているので、お正月のご馳走で弱り気味の胃を少し休めようという知恵から始まったともいわれています。

春の七草って？

せり・なすな・ごぎょう・はこべら・
ほとけのぎ・すすな・すすしろ

子育てメッセージ

がんばっている
あなたに…
「ありがとう」

「ありがとう」という言葉は、いろいろな場面で使われますが、その一言で子どもは、自分は認められたという気持ちを持ちが持てるのです。

自信を失いかけた時、「ありがとう」の言葉はほっとして自信となり、また頑張る力となっていく…。大人も子どもも素直に「ありがとう」が言える社会でありたいですね。

全国私立保育園連

盟

子育てメッ

